

## 2021年度の活動報告

### 総務

#### (1) 会員数

- 2021年度は入会者13名、退会者が2名であった。会員(年会費納付者)数は前年度の67名より11名増えて78名になった。うち女性会員18名、学生会員1名である。
- 入会者 13名
  - 高橋 正貴氏 (5月21日付)      本村 雄一郎氏 (6月28日付)
  - 持田 智男氏 (6月29日付)      岩波 美智子氏 (7月7日付)
  - 山野 優妃氏 (8月24日付)      高田 有一郎氏 (9月8日付)
  - Khaing Khaing Oo氏 (10月1日付)      安井 伸太郎氏 (11月11日付)
  - 平山 陽洋氏 (12月22日付)      柴田 英知氏 (1月5日付)
  - 大沼 照美氏 (1月13日付)      森 真一氏 (2月9日付)
  - 春藤 健二氏 (2月28日付)
- 退会者 2名
  - 田中 信行氏、他1名 (3月31日付)

#### (2) 年会費収入

- 2019年度以降、コロナ感染防止のためイベントをすべてオンライン開催としたため、懇親会費等の支出が減り、2020年度の収支決算で242,000円の剰余金を計上した。
- そのため、2021年度の年次総会において、特例により年会費を半額まで(一般会員は8,000円を4,000円に、若手会員は5,000円を2,500円に)引き下げた。
- その結果、2021年度の年会費収入は290,500円と、2020年度の501,000円に比べて210,500円の大幅な減収となったが、イベントのオンライン開催により会場費、飲食費等が節減され、年度末収支は45,044円の赤字に留まった。

#### (3) 会員紹介

- SRID ジャーナルの「会員紹介」欄において、第21号に落合直之会員、森田宏子会員、第22号に高橋正貴会員、岩波美智子会員が紹介された。
- SRID Newsletter の「新会員紹介」では、5月号に井上侑一郎会員、8月号に高橋正貴会員、3月号に高田有一郎会員を紹介した。

### 全体行事

#### 第48回年次総会 (オンラインで開催)

- 新型コロナウイルスの感染終息が見込まれないため、2020年度のメール総会に代わり、2021年度はZoomによるオンライン総会を開催した。

- ・ 事前に議案書を配布し、4月24日(土)13:00～15:00に開催。参加者は18名であった。挙手による採決を行った結果、いずれの議案も異論はなく、全会一致で可決された。
- ・ 神田会長より、SRID が懇談会やジャーナルを通じて国際協力に関心を持つ人達の集まりを提供している。さらに若い現役会員を取り込めるよう工夫したい、と挨拶があった。

## 幹事会 (オンラインで開催)

### 第1回幹事会

5月11日(火) 新規研修コースの実施、懇談会及びSRID サロンの開催、会員から提案のあったSRID 入会勧誘のためのFlyer 作成等について協議した。

### 第2回幹事会

6月8日(火) 鈴木会員の提案により作成したSRID 入会勧誘のためのFlyer の配信先と配信方法について議論した。

### 第3回幹事会

7月13日(火) 中島会員からの要請でSRID の連携相手選定の考え方と手順について議論。また内藤会員から指摘のあった会員名簿の情報漏洩リスクと対処方法について検討。

### 第4回幹事会

8月10日(火) 第4回SRID フォーラムの開催について意見交換した。

### 第5回幹事会

9月14日(火) キャリア開発運営委員会より、ロスター制度とNewsletter の創設、女性のためのオンライン塾の開催等を報告した。SRID ネットのWP サーバへの移行を了承した。

### 第6回幹事会

10月12日(火) 新規事業を含む「キャリア開発事業運営規約」の改訂案を承認した。また第4回フォーラムの企画(テーマ、討議内容、パネリスト、モデレータ等)を了承した。

### 第7回幹事会

11月9日(火) キャリア開発事業の新規事業を反映させたHomepage の改定案について協議した。第4回SRID フォーラムのプログラムを確定した。

### 第8回幹事会

12月14日(火) キャリア開発運営委員長の小久保会員から鈴木会員への交替を了承した。Homepage の改定案を承認した。フォーラムに関するアンケート調査を提案した。

### 第9回幹事会

1月11日(火) 山岡 IT 担当幹事から提案された Homepage の更新頻度の向上、文書 File の保管・共同管理、Journal の QR コードについて検討、了承した。

#### 第10回幹事会

2月8日(火) 第49回年次総会の開催要領とアジェンダを議論した。年会費の引き下げ、若手会員制度の廃止、懇親会の参加費補助の廃止、SRID の改称などを検討した。

#### 第11回幹事会

3月8日(火) 第49回年次総会議案書(1次案)について検討した。

#### 第12回幹事会

4月12日(火) 第49回年次総会議案書(最終案)を確認した。

### 懇談会

- ・ コロナ禍の為に2020年度よりオンライン開催とした懇談会は、2021年度計5回開催できた。毎回、SRID 会員 30 名程度を含む、定員 100 名を超える参加申し込みがあり、SRID の対外発信プラットフォームの一つとして定着している。
- ・ オンライン開催と合わせて、グーグルフォームによる懇談会参加申込を採用したことで、幹事の負担が大幅に軽減されている。さらに、グーグルフォーム書式内に SRID 入会の有無、及び SRID ジャーナル配信希望とキャリア開発塾カウンセリング受講希望に関する質問を入れたことで、それぞれの申込増加に繋がった。
- ・ 以前の対面懇談会後に開いていた講師を囲むネットワーク懇親会は、オンライン開催のため残念ながら開催できていない。懇談会報告は引き続きそれぞれ直近のニューズレターに掲載した。(小林<sub>文</sub>)

#### 第1回懇談会

5月18日(火) 講師は佐藤安信・東大教授かつ弁護士。テーマは「国連の難民に関するグローバルコンパクトと人間の安全保障」。概要を Newsletter 6月号に掲載。

#### 第2回懇談会

7月20日(火) 講師は浦田秀次郎・早稲田大学名誉教授。テーマは「米国抜きで進むアジア太平洋地域経済統合と日本の役割」。概要を Newsletter 8月号に掲載。

#### 第3回懇談会

9月21日(火) 講師は山下望・JICA 平和構築室長。テーマは「3D (Development, Diplomacy, and Defense) による国際協力の可能性」。概要を Newsletter 10月号に掲載。

#### 第4回懇談会

1月18日(火) 講師はアイエムジーの森真一社長。テーマは「途上国プロジェクトにおける最適解への挑戦—開発現場からの報告」。概要をNewsletter 2月号に掲載。

#### 第5回懇談会

3月15日(火) 講師は川嶋雄作・世界銀行上級イノベーション専門官。テーマは「MDBs 最前線からの報告— 国際開発に人工知能ができる貢献」。概要をNewsletter 4月号に掲載予定。

### SRID フォーラム

- ・ 第4回 SRID フォーラムは27名の参加を得て、2021年11月27日(土)11時～14時30分(日本)、ワシントン・バージニア(21時～24時30分)、マニラ(10時～13時30分)、ダッカ(8時～11時30分)に ZOOM 形式で開催された。今年度は会員間の意見交換に力点を置いて、できるだけ新しい会員に発表を依頼し、英語セッションは設けなかった。ZOOM での討議方法、時間の確保は次回以降の課題である。
- ・ 昨年のテーマ「コロナ後の世界を探る」を引き継ぎ、「コロナ禍後の国際協力:変革の行方」をテーマとし、パネル I 「気候変動対策とエネルギー問題」では3名:①小林一会員:「COP26 に思う」、②高橋正貴会員:「気候変動とエネルギー問題—石炭と原子力をどうするか?」、③玉置佳一会員:「Transport—Energy—Urban、Nexus 三題噺」を発表した。
- ・ パネル II 「コロナ後の紛争の行方と国際協力」では3名:①福田幸正会員:「アフガニスタンの復興はアフガン人の叡智で～破綻国家の行方～」、②林薫会員:「ミャンマー報告」、③落合直之会員:「コロナ禍でのフィリピン・ミンダナオ和平支援」を発表した。
- ・ パネル III 「二分化する世界と国際協力」では2名:①本村雄一郎会員:「これからの国際協力実施者は何を芯とするのか」、②砂川眞会員:「FOIP/FUND 構想の具体化」を発表した。概要は SRID Newsletter 12月号に掲載した。

### ニューズレター

No.510(2021年4月号)

第48回年次総会報告(事務局)

第2回 SRID サロン報告「ショパン・ピアノ曲とパタゴニア・トレッキング」(鈴木博明)

会員紀行「南アフリカの自然」(天谷和彦)

No.511(2021年5月号)

自論公論「コロナ禍にみるイランの現状と今後の課題」(奈良玲子)

第1回懇談会報告・佐藤安信氏「国連の難民に関するグローバルコンパクトと人間の安全保障」(小林文彦)

新会員紹介「帰宅部からメキシコへと続く道」(井上侑一郎)

No.512(2021年7月号)

研修報告「国際開発プロフェッショナルコースが成功裏に終了」(藤村建夫・佐藤桂子)

第3回サロン報告「天谷和彦水彩画展:人気作品の紹介」(山下道子)

No.513(2021年8月号)

第2回懇談会報告・浦田秀次郎氏「米国抜きで進むアジア太平洋地域経済統合と日本の役割」(小林文彦)

第4回サロン報告・湊直信会員「ジャズピアノの楽しみ」(山下道子)

新会員紹介「トライアスロンと茶の湯に励む日々」(高橋正貴)

号外(2021年9月11日付)

旅の千夜一夜物語・号外夜「私の9.11」(藤村建夫)

No.514(2021年9月号)

第3回懇談会報告・山下望氏「3D(Development, Diplomacy, and Defense)による国際協力の可能性」(小林文彦)

第5回サロン報告・和気邦夫会員「冒険とロマンを求めて:フライフィッシングの旅」(藤村建夫)

旅の千夜一夜物語・第22夜「3か国で襲われたハートアタックの顛末」(砂川眞)

No.515(2021年11月号)

キャリア開発事業「キャリア開発事業の新たな取り組み」(鈴木博明)

第6回サロン報告・森田宏子会員「小島途上諸国を巡って」(藤村建夫)、

No.516(2021年12月号)

第4回SRIDフォーラム報告「コロナ禍後の国際協力:変革の行方」(神田道男)

Rita-Congo との第2回連携セミナー報告「コンゴ民主共和国東部における、人権侵害問題と国連、周辺諸国の関係、紛争鉱物およびグローバル経済との関係性、今後の改善策について」(不破吉太郎)

第1回国際開発分野で働く女性の能力向上のためのオンライン懇談会報告(森田宏子)

No.517(2022年1月号)

自論公論「日本が誇る頭脳と技術」(山下道子)

第4回懇談会報告:森真一・アイエムジー社長「途上国プロジェクトにおける最適解への挑戦—開発現場からの報告」(小林文彦)

会員便り「歩くことの効用」(豊間根則道)

No.518(2022年3月号)

自論公論「ウクライナ侵攻とエネルギーセキュリティ」(高橋正貴)

第7回サロン報告「新春テニス放談会」(鈴木博明)

新会員紹介「トルコで防災・インフラ支援に従事」(高田有一郎)

私の異文化体験「ミャンマーの発展に貢献するNGOの設立(その1)」(藤村建夫)

## SRID ジャーナル

### (1) 編集委員会の開催

2021年度の企画・編集は湊直信編集委員長以下、浅沼信爾、高橋一生、仲浩史(第21号まで)、福田幸正、藤村建夫、山岡和純、中島千秋の7名が担当した。編集会議を5月19日、7月12、13日、10月1日、12月10日にオンラインで開催した。

### (2) 第21号及び第22号の発行

- ・ 第21号を8月9日に発行した。巻頭エッセイは「COVID-19と開発途上国の変革」(湊直信 SRID ジャーナル編集委員長)。特集は「COVID-19 パンデミックのもたらす開発へのダメージ;そこから如何に回復するか?」。
- ・ 第22号を2022年1月1日に発行した。巻頭エッセイは「深まる米中覇権闘争と途上国世界」(高橋一生 アレキサンドリア図書館顧問/元国際基督教大学教授)。

### (3) 外部配信者数の増加

2022年2月26日時点でのジャーナル登録者は572名と、順調に増加している。(湊)

## キャリア開発事業

### (1) 運営委員会

小久保和代委員長以下、藤村建夫、神田道男、小林文彦、佐藤桂子、森田宏子、和気邦夫の7名が運営委員を務めた。2021年12月に小久保委員長、佐藤委員、和気委員が退任し、鈴木博明委員長に交代した。内藤智之、浪川真悠子、山岡和純の3名が新

たに運営委員に加わった。運営委員会で運営方針を決定し、運営委員とキャリア開発事業講師が事業を実施した。運営委員会をオンラインで2021年5月8日、7月5日、8月31日、10月21日、12月12日、2022年3月11日の6回開催した。

## (2) 事業の実施

- ・ 2021年度のキャリア開発事業受講者総数は41名(うちカウンセリング28名、能力開発・向上研修13名)であった。(表A参照)
- ・ 新規事業の開始に合わせて2021年12月に運営規約を改正し、2022年1月にキャリア開発事業のHPを改訂した。(担当:藤村、小久保、佐藤、鈴木)
- ・ 国際機関等で活躍できるプロフェッショナルの育成を目的とした「短期能力向上研修コース」を2021年6月19日(土)、20日(日)の2日間、オンラインで実施した。初日に世銀のCountry Partnership Frameworkの作成方法、二日目に国連機関のプロジェクトの運営管理の研修を行った。研修は有料で収支はほぼ均衡した(p.14の表2. 収支決算を参照)。13名の受講者から高い評価を受けた。(担当:藤村、佐藤、森田、和気。協力:村井暁子・元世銀人事部職員)
- ・ 国際機関の就職、あるいは働き方等に関する情報は男性の視点に立つものが多く、女性に必要な知識を扱ったものは少ない、との声を受けて、「開発分野で働く女性のためのフォーラム」を2021年11月5日と2022年3月5日に参加者を女性に限定して開催した。第1回100人、第2回30人の参加者があり、好評であった。(担当:森田、池田。協力:玉内みちる・元国連人事部職員)
- ・ キャリア開発研修やカウンセリングの受講生をはじめ、国際開発関連機関への就職を目指す人達に、キャリア開発に関する情報を提供するため、ニューズレター『SRID キャリア開発』を年2回のペースで配信することを決定し、編集チームを設置した。創刊号(2021年9月)と第2号(女性のキャリア特集、2022年3月)をHPに掲載し、リンクを国連フォーラム、ワシントン開発フォーラムへ投稿した。(担当:鈴木、藤村、山岡)
- ・ 能力開発・向上研修やカウンセリング受講者のうち、希望者を対象にロスター登録制度を開始した。現時点の登録者は32名である。登録者には定期的にニューズレターを配信し、キャリア開発に有益な情報を届ける。また、登録者が国際機関等に就職した場合には、SRIDへの加入を勧めるとともに、懇談会等の講師を依頼するなど、協力関係を強化する予定である。(担当:鈴木)。
- ・ 国際機関に応募する上で、採用、セミナー、研修、履歴書の書き方、面接の受け方などの有益な情報が、財務省、外務省国際機関人事センター、各国際機関等のWebsiteに掲載されている。それらを整理して、国際開発関連機関のキャリア関連情報をSRIDのHPで提供した。(担当:鈴木)

表 A. 2021 年度キャリア開発事業実施状況

活動内容	2020		2021		支援対象 2021
	件数	参加者	件数	参加者	
1. 出張講座	0	0	0	0	
2. 能力開発・向上研修	2	2	1	13	応募した社会人・学生のうち、 英語の実務能力のある者
3. カウンセリング	20	20	28	28	学生 11 名、社会人 17 名
4. 国際機関職員支援	1	1	0	0	
5. 学生団体活動支援	0	0	0	0	
6. 他の組織との連携	0	0	0	0	
合 計	23	23	29	41	

#### 他団体との連携推進(オンラインで開催)

- 2021 年 2 月 26 日に開催した RITA-Congo との第 1 回連携セミナーにおける米川正子・共同代表からの提案を受けて、以下の書籍の紹介を 6 月 17 日付けで RITA-Congo の Website に掲載し、SRID ジャーナル第 21 号にも掲載した。  
Judi Rever 著、*In Praise of Blood, The Crimes of the Rwandan Patriotic Front*、VINTAGE CANADA EDITION 2020
- 中沢幹事経由で佐藤安信・東大教授の依頼を受け、東京大学持続的平和研究センターが 2021 年 7 月に開催したシンポジウム「ミャンマーにおける人間の安全保障—COVID-19 の影響と日本の役割—」の後援者として、SRID が名を連ねた。
- 10 月 26 日に RITA-Congo との第 2 回連携セミナーを開催し、東京大学未来ビジョン研究センターの政策提言案(コンゴ民主共和国東部での)「紛争下の資源採掘と人権侵害」について、RITA-Congo の華井和代・共同代表と意見交換を行った。同提言の中で、『国際開発研究者協会(SRID)有志』が意見交換相手として付記された。意見交換の概要は SRID Newsletter 12 月号に掲載した。
- SRID 懇談会の開催案内を毎回日本国際開発学会のメーリングリストに流した(不破)。

#### SRID サロン(オンラインで開催)

##### 第 2 回サロン

4 月 3 日(土) 11:00~12:00 鈴木博明会員によるパタゴニア・トレッキング・ツアーの報告

会。開始前に加藤珠比会員がピアノ演奏を行った(曲目はショパンのエチュード)。

#### 第3回サロン

6月5日(土) 15:00～16:00 天谷和彦会員による「天谷和彦水彩画展」を開催した。終了後に展示作品の人気投票を行い、上位5位までの作品について Newsletter 7月号に解説を掲載した。

#### 第4回サロン

8月14日(土) 15:00～16:00 湊直信会員による「ジャズピアノの演奏とジャズ音楽の解説」。

#### 第5回サロン

9月25日(土) 16:00～17:30 和気邦夫会員による「カナダ・ニュージーランド釣り紀行」。

#### 第6回サロン

10月23日(土) 16:00～18:00 森田宏子会員による「小島途上諸国を巡って」。

#### 第7回サロン

2月5日(土) 20:00～22:00 テニス・マニアを自認する玉置、不破、松田、山岡の4名のSRID会員による「新春テニス放談会」を開催した。司会は鈴木博明会員。